

空 手 道 競 技 要 項

期 日	令和6年7月6日(土) 前日練習、審判・監督会議日 令和6年7月7日(日) 競技日
会 場	岐阜メモリアルセンター 剣道場 住所:岐阜県岐阜市長良福光大野2675-28 電話:058-233-8822
開会式	令和6年7月7日(日) 9時30分
競技開始時刻	令和6年7月7日(日) 10時00分
閉会式	競技終了後

競技規則 (財)全日本空手道連盟制定の競技規定・審判規定(ジュニアルール)に準じて行い、運用については東海地区高専体育大会空手道競技の申し合わせ事項による。

危険防止 組手競技においては、危険防止のため以下の安全具を各自で用意し着装すること。全空連、学連、高体連公認品であることが望ましい。

- (1) 拳サポーター
- (2) メンホー、フェイスシールド
- (3) ボディプロテクター
- (4) インステップガード・シンガード
- (5) [男子のみ]ファウルカップ

審判員 (財)全日本空手道連盟公認審判員および大会主催校が要請した審判員とする。因会前もしくは大会当日に審判講習会を行う。審判講習会も大会の一部とする。

競技種目

1. 団体形

- (1) 各校2チームを上限とし、1チームの人員は監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5名以内、計8名以内とする。ただし、選手が3名に満たない場合は登録できない。
- (2) 競技は得点制とする。
- (3) 全空連基本形、指定形、得意形リストのいずれかの形を演武すること。

2. 団体組手

- (1) 各校1チームを上限とし、チーム人員は監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内、
- (2) 競技は勝者数法で行い、リーグ戦で行う。
- (3) リーグ戦の結果、勝率が同一の場合は勝試合の勝者数の多いチームを上位とする。また、勝者数が同数の場合は、全試合を通じて勝者数の多いチームを上位チームとする。
- (4) 試合時間は、1分30秒のフルタイムで行う。
- (5) 安全上の観点から、女子選手の出場は認めない。

3. 男子個人形

- (1) 各校出場人員は監督1名、選手4名以内とする。
- (2) 競技は得点制とする。
- (3) 予選ラウンドは、全空連基本形、指定形リストのいずれかの形を演武すること。決勝ラウンドでは、予選ラウンドで使用していない全空連基本形、指定形、得意形リストのいずれかの形を演武すること。

4. 女子個人形

- (1) 各校出場人員は監督1名、選手3名以内とする。
- (2) 競技は得点制とする。
- (3) 予選ラウンドは、全空連基本形、指定形リストのいずれかの形を演武すること。決勝ラウンドでは、予選ラウンドで使用していない全空連基本形、指定形、得意形リストのいずれかの形を演武すること。

5. 男子個人組手

- (1) 各校出場人員は監督1名、選手5名以内とする。
- (2) 競技はトーナメント戦で行う。
- (3) 試合時間は、2分のフルタイムで行う。

6. 女子個人組手

- (1) 各校出場人員は監督1名、選手2名以内とする。
- (2) 競技はトーナメント戦で行う。
- (3) 試合時間は、1分30秒のフルタイムで行う。

表彰

(1) 総合の部

団体種目の成績を得点制とし、団体組手は1位10点、2位8点、3位6点、4位4点、5位2点、団体形は1位5点、2位4点、3位3点、4位2点、5位1点、6位以下0点を与える。最多得点校を優勝とし、同点の場合は団体組手の高得点校を上位とする。1位の学校に優勝杯及び賞状を授

(2) 団体の部

団体種目の1位の学校に優勝杯及び賞状を授与する。

(3) 個人の部

個人種目の3位までの入賞者に賞状を授与する。